

<警報発令時の行動について>

＊ ＊ 注意喚起 ＊ ＊

近年、線状降水帯等の発生により、大雨警報等が発表される場面があります。

その際、川の増水、下水道などの水かさ増、周辺での激しい水の流れが起こる可能性があります。



大雨に伴う洪水及び土砂災害等が予想される場合は、自分で危険を避ける力（危険回避能力）を身につける必要があります。

＊ ＊ 予想される危険（行動） ＊ ＊

○側溝やマンホール等の噴出。

⇒ 水の流れを見ようと興味本位で近づき水の力で流される。

※側溝のふたが外れていることに気付かず、流される事故も発生しています。

○雨に濡れて遊ぶ、水遊び。裸足になる。

⇒ 落雷。危険なモノを踏む（足裏のケガ）。

＊ ＊ 危険を回避するために ＊ ＊

①海や川、下水道に近づかない。

②ガケや地すべり等、キケンな場所に近づかない。

③カミナリが光ったら、建物の中へ避難する。

④車の動きに注意する。※運転手は、前が見にくくなっています。

⑤不要不急の外出は控える。

⑥寄り道をせず帰宅する。



一人ひとりが意識して行動できるようにしましょう!!

令和5年6月16日

保護者各位

那覇市立真和志中学校

校長 金城 久枝

(公印省略)

警報発令時の行動について(お願い)

梅雨の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素より、本校教育活動へご理解ご協力を賜り感謝申し上げます。

先日、気象の悪化に伴い本島地方に大雨警報等の発令がありました。本校では、生徒の安全を優先し、天候を注視しながら教育活動を行い対応したところです。

今後も、台風などの発生に伴い今回のような状況が予想されます。登下校中には、生徒自身で危険を回避する必要があります。

つきましては、裏面の「警報発令時の行動について」をお子さんと一緒に各家庭でもご確認いただきますようお願いいたします。